

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

会社名： BASF ジャパン株式会社
住所： 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー21階
担当部門： 農薬事業部 開発登録部
FAX番号： 03-3796-9417
緊急連絡先： 0120-014660(フリーダイヤル) 案内に従って選択
(財)日本中毒情報センター (事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る)
中毒110番 一般市民専用電話 (大阪) 072-727-2499 (情報料無料)
365日 24時間対応
(つくば) 029-852-9999 (情報料無料)
365日 9~21時対応
医療機関専用電話 (大阪) 072-726-9923 (1件2000円)
365日 24時間対応
(つくば) 029-851-9999 (1件2000円)
365日 9~21時対応
医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、情報提供料1件につき
2000円を徴収します。

整理番号： 30133935/SDS_CPA_EU/EN-JP

作成日： 2002年05月31日

改訂日： 2011年01月31日 ver.7.0

製品名(化学名、商品名)： ACC ノーマルト乳剤

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分： 混合物

化学物質名	含有率 (%)	化学式又は構造式	官報公示整理番号 化審法/安衛法	CAS No.
テフルベンズロン： 1-(3,5-ジクロロ-2,4-ジフルオロフェニル)-3-(2,6-ジフルオロベンゾイル)尿素	5.0	$C_{14}H_6Cl_2FN_2O_2$	安衛法；4-(13)-161	83121-18-0
その他成分(乳化剤・溶剤等)： シクロヘキサノン	45.0	$C_6H_{10}O$	化審法 (3)-2376 安衛法通知対象物質	108-94-1
N-メチル-2-ピロリドン	35.0		化審法 (5)-113 安衛法 8-(1)-1014 安衛法通知対象物質	872-50-4
その他、補助成分	15.0			

PRTR法：テフルベンズロン 2種 26

3. 危険有害性の要約：分類基準：引火性液体

[GHS 分類]

物理化学的危険性	引火性液体	区分 3
	自然発火性液体	区分外
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	急性毒性（吸入、蒸気）	区分 3
	急性毒性（吸入、ミスト）	区分 4
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼への重篤な損傷・刺激性	区分 2B
	皮膚感作性	区分外
	変異原性	区分 2
	発がん性	区分 2
	生殖毒性	区分 1B
環境に対する有害性	特定標的臓器毒性（反復暴露）	区分 1(腎臓、肝臓、中枢神経系)
	水生環境有害性（急性）	区分 1
	水生環境有害性（慢性）	区分 1

* 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

[GHS ラベル要素]

シンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

引火性液体および蒸気
 吸入すると有毒
 眼刺激
 遺伝性疾患のおそれの疑い
 発がんのおそれの疑い
 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
 長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害
 水生生物に非常に強い毒性
 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

(予防対策)

使用前に取扱い説明書を入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。容器を密閉しておくこと。容器を接地すること。アースをとること。熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること（禁煙）。防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。火花を発生させない工具を使用すること。静電気放電の火花による引火を防止すること。粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。指定された個人用保護具（保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面）を使用すること。取扱い後はよく手を洗うこと。環境への放出を避けること。

（緊急対応）

火災の場合には適切な消化方法をとること。皮膚（または髪）にかかった場合は、直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水で洗うこと。気分が悪い時は医師の診断を受けること。漏出物は回収すること。暴露または暴露の懸念がある場合は、医師の診断/手当を受けること。吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。取り扱った後、手を洗うこと。

（保管）

施錠して保管すること。容器を密閉して、涼しい所/換気の良い場所で保管すること。

（廃棄）

内容物/容器を法、条例等に従って安全に処理すること。または都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理すること。

4. 応急処置

一般的注意事項：

皮膚、眼及び衣服への付着を避ける。汚染された衣服は脱ぐこと。異常を感じた場合は医師の手当を受けること。容器、ラベル及び/又は安全性データシートを医師に見せること。

吸入した場合：

新鮮な空気の場合に移動させ、安静に保つ。医師の手当てを受ける

皮膚に付着した場合：

直ちに水と石鹸で十分に洗い流し、医師の手当てをうける。刺激が現れてきた場合も医師の手当てをうける。

眼に入った場合：

直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

飲み込んだ場合：

直ちに口をすすぎ、多量の水を飲ませて、吐き出さずに医師の手当てを受ける。

医師への注意：

症状に応じて処置（洗浄・機能回復）を講じること。特定の解毒剤はない。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：

噴霧水、二酸化炭素、泡消火剤、粉末消火剤

特異的な危険物質：

一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、塩化水素、フッ化水素、有機塩素類が、火災時に発生する可能性がある。

特異的な防護服等：

自給式呼吸器及び耐薬品性防護服を着用する。

その他情報：

火災、漏出時には噴煙を吸わないようにする。火災時には容器を水で冷却する。火災現場より流出した水を集め、排水経路に流れ込まないように注意する。火災の残骸及び汚染された消火排水は法令に従って適切に処分する。

6. 漏出時の措置

人的注意：

暴露防止措置に記載された保護具を着用する。眼、皮膚及び衣服への付着を避けること。衣服、靴等に付着した場合は、直ちに脱ぐ。

環境への注意：

土中、排水口、地表水及び地下水へ排出しない。

処理法：

少量の場合は粉末状の吸着剤等で含ませて廃棄する。大量の場合は掃き集めてシャベルですくい取る。保護具なしでは作業に従事しないこと。吸着させた汚染物質は法令に従って処分する。適切な容器に集めて密封しラベルを貼る。環境規制に照らし合わせ、水や洗剤で汚れた床物質を洗浄する。当局の規制に従って焼却処分あるいは特定の処分場において処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

正しく保管及び取扱いをするのであれば、特別な対策は必要ない。保管場所及び作業場所では換気をよくすること。

火災に対する保護：

粉塵の蓄積は空気の下で粉塵爆発の危険性を伴う。粉塵が生じることおよび堆積することを避ける。発火源となる静電気の蓄積を防ぐ。消火器を常備する。本製品は可燃性である。

保管

食料品や家畜飼料から隔離して保管する。

その他保管条件等：湿気を避けて保管する。熱源より遠ざける。直射日光を避ける。凍結を避ける。

保管安定性：

3年間安定。

原則として40℃を超える条件での保管を避ける。本剤やその製品を上記に指示した温度期間および温度条件を超えて保管した場合、その品質・特性が変化することがある。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度： シクロヘキサノン 25 ppm（労働省告示第26号）

許容濃度： シクロヘキサノン 25 ppm (100 mg/cm³) 日本産業衛生学会（JSOH）
25 ppm (皮膚) 米国産業衛生学会（ACGIH）

研究所従事者においてはその研究所の決まりに従い、工場従事者は以下の保護具を着用する。

最終消費者の手に渡る農薬を取り扱う際には、製品のラベルに従い使用すること（「15. 適用法令」参照）。

個人防護用具

呼吸防護具：

ガスや蒸気が発生した場合および換気が十分でない場合には呼吸防護具を着用する。中程度の効果のあるフィルター付きの呼吸防護具を着用する（例えば、EN 143 あるいは 149、Type 2 あるいは FFP2）

防護手袋：

化学薬品耐性の防護手袋（EN374、防護指数 6、480 分以上の浸透時間、例えば、ニトリルゴム（0.4mm）、クロロプレンゴム（0.5mm）、塩化ポリビニル（0.7mm）など）

保護眼鏡：

保護眼鏡（フレーム付きゴーグル、EN166）

保護衣：

保護衣は作業内容および暴露可能性にもとづいて選択する（例えば、作業エプロン、防護長靴、化学薬品耐性スーツ（DIN-EN 465による））。

一般的な安全衛生管理上の手段

皮膚、眼及び衣服への直接の接触を避ける。密閉された作業着を着用する。衣服に付着した場合は直ちに着替え、安全に廃棄すること。作業着は分けて保管することが望ましい。食料、飲料及び家畜飼料からは分けて保管し、作業所での飲食及び喫煙も避けること。作業終了または休憩時には顔や手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

外観等：液体（淡黄色澄明可乳化油状液体）、有機溶媒臭

密度：1.02～1.03 g/cm³（20℃）

引火点：50.2℃（タグ密閉式）

自然発火性：常温の空気と接触しても自然発火しない。

10. 安定性及び反応性

熱分解：指示どおりの保管及び取扱いにおいて熱分解しない。

避けるべき物質：酸化剤

有害反応性：指示どおりの保管及び取扱いにおいて有害反応はない。

有害分解物質：指示どおりの保管及び取扱いにおいて有害な分解物は生じない。

11. 有害性情報

急性毒性：

LD₅₀（ラット、雌雄、経口）：5000mg/kg 以上

LD₅₀（ラット、雌雄、経皮）：2000 mg/kg 以上

LC₅₀（ラット、雌雄、吸入）：4.65 mg/L（4時間）

刺激性：

皮膚刺激（ウサギ）：軽度の刺激性あり、1000倍希釈液での試験では刺激性なし。

眼粘膜刺激（ウサギ）：刺激性あり、1000倍希釈液での試験では刺激性なし。

感作性：

感作性なし（モルモット：Buehler法）

変異原性：区分2に分類されるシクロヘキサノンのカットオフ値の1%以上含有することから区分2とした。

発がん性：区分2に分類されるシクロヘキサノンのカットオフ値の1%以上含有することから区分2とした。

生殖毒性：区分1Bに分類されるN-メチル-2-ピロリドン区分1のカットオフ値の0.3%以上含有することから区分1とした。

その他毒性：誤用により健康に有害を及ぼす可能性がある。

12. 環境影響情報

急性毒性：

LC₅₀（コイ）：15.3 mg/L（96時間）

EC₅₀（オオミジンコ）：0.0026 mg/L（48時間）

EbC₅₀（緑藻）：173.2 mg/L（0-72時間）

その他の環境毒性に関するアドバイス：

環境中への排出については、環境法令や規制・基準に従って適切に処理する。

13. 廃棄上の注意

国内の法令に従って処分する。

14. 輸送上の注意

運搬に際し、容器の漏れのない事を確認し、落下、転倒、衝突を避ける。取扱い及び保管上の注意の項に留意する。

参考情報（海外規制）

	規制	危険 クラス	国連 番号	包装 グループ	容器記載
海上輸送	IMDG / GGVSee	9	1993	III	Marine pollutant : No FLAMMABLE LIQUID, N.O.S. (Contains: CYCLOHEXANONE)
航空輸送	IATA / ICAO	9	1993	III	FLAMMABLE LIQUID, N.O.S. (Contains: CYCLOHEXANONE)
陸上輸送	ADR / RID	9	1993	III	FLAMMABLE LIQUID, N.O.S. (Contains: CYCLOHEXANONE)
内水面 輸送	ADNR	9	1993	III	FLAMMABLE LIQUID, N.O.S. (Contains: CYCLOHEXANONE)

15. 適用法令

農薬取締法：登録番号 第17732号

労安衛法：名称などを通知すべき有害物（法第57条の2、施行令第18条の2 別表第9）

シクロヘキサノン，鉱油

消防法：危険物第四類第二石油類、非水溶性液体（確認登録番号 4041-004966）

化学物質排出把握管理法（PRTR）（テフルベンズロン 第二種指定化学物質 政令番号 2-26号）

海洋汚染防止法（シクロヘキサノン、N-メチル-2-ピロリドン D類）

参考情報（欧州連合の規制）

有害性シンボル：Xn、N

R-phrase：R10、R20、R50/53

S-phrase：S2、S13、S20/21、S35、S46、S57

表示すべき有害物質：テフルベンズロン、シクロヘキサノン

16. その他の情報

引用文献；BASF 製品安全データシート（30133935/SDS_CPA_EU/EN Version 1.0）

記載したデータは現在の弊社の知識に基づくもので、本品の諸特性を保証するものではありません。

現行の法規・条例など自己の責任において厳守して下さい。また、本製品情報は随時更新されます。

17. 改訂履歴

作成日	：	2002年05月31日	Version 1
第1回改訂日	：	2005年03月22日	Version 2
第2回改訂日	：	2005年06月24日	Version 2-2
第3回改訂日	：	2005年11月01日	Version 3
第4回改訂日	：	2006年09月09日	Version 3-2
第5回改訂日	：	2007年01月31日	Version 3-3
第6回改訂日	：	2007年08月10日	Version 3-4
第7回改訂日	：	2008年05月20日	Version 4
第8回改訂日	：	2008年11月14日	Version 5
第9回改訂日	：	2009年10月01日	Version 6
第10回改訂日	：	2010年01月15日	Version 6.1
第11回改訂日	：	2011年01月31日	Version 7.0